

# まいDO!

第86回自治労定期大会大阪実行委員会

〒530-0041 大阪市北区天神橋3-9-7 PLP会館1F

●Tel 06-6242-2233 ●Fax 06-6242-2230

自治労大阪大会ニュース

5号 2013年8月1日発行

p.1

## 大阪大会まであと少し

### 多方面からの協力で大会の準備も着々と

# 「物産展」や「ゆるキャラ」もお出迎え

いよいよ自治労定期大会大阪大会の開催まで1カ月を切った。参議院選挙闘争も終了し、大阪実行委員会では大会当日にむけて、執行部や書記局をはじめ各職能評議会それぞれが、総力を挙げて急ピッチで受け入れの作業に取りかかっている。

7月に入り、強烈な猛暑が襲来。大阪でも連日すさまじい熱風が吹き荒れている。この暑さにも負けず大阪実行委員会は、全国の仲間を歓迎する環境を整えるため、着々と準備を進めている。以前にもお知らせをしたが、これまでの大会と同様に大阪でも物産展を企画しており、7月20日現在で約50団体からの出展協力を確認した。

物産展は会場までの遊歩道に、二つのテーマにわけて設置する予定だ。一つめのテーマは「なにわにぎわい広場まいDO!」で、大阪府本部に加盟する各単組や友誼団体からの出展、東北被災3県の支援行動、さらには「大阪だけでは心もとない」として、近畿地連（滋賀県本部、京都府本部、奈良県本部、和歌山県本部、兵庫県本部）の仲間からも出展の協力をいただくことになった。

もう一つのテーマは「大阪ふるさと市場」として、NPO法人大阪ふるさと暮らし情報センターの協力をいただき、大阪府内の各自治体が

らそれぞれの特産物の販売などを予定している。

また、大会初日の昼休憩の時間帯には、大阪の特色ある文化と伝統を知っていただくイベントを企画。その一つとして、大阪府内の自治体（一部）それぞれの「ゆるキャラ」を「結集」し、皆さんへの歓迎の意味を込めたアピールを行う予定だ。

## オープニングは「金管五重奏」で高らかに



**大阪市音楽団**  
1923年に誕生した大阪市音楽団は日本で最も長い歴史と伝統を誇る交響吹奏楽団で、「市音（しおん）」の愛称で大阪市民に親しまれています。大会で披露する金管五重奏はコンパクトな形態で、機動性を生かした演奏は、聴衆との距離が近く親しみやすいものです。自治労大会のオープニングにふさわしいアンサンブルです。

#### ●出演メンバー

写真の上段右より、石井徹哉（バストロンボーン）、松本大介（チューバ）、山口潤（ホルン）、下段右より、和田垣悟（トランペット）、村山広明（トランペット）

## ほんまかいな大阪

太平洋戦争末期、アメリカ軍の攻撃は日本本土へと達し、大都市や軍施設がある地域を中心に連日の空襲となった。大阪でも1944（昭和19）年12月から終戦前日まで大小あわせて約50回

もの空襲があった。

なかでも酷かったのが1945（昭和20）年3月13日から翌未明にかけての第1回大阪大空襲だ。中心市街地、約21平方<sup>キロ</sup>を焼き尽くし、死者約4千人、被災者約50万人もの犠牲を出した。この後も頻りに空襲は続き大阪市内の大半は焦土に、人々の命や生活を根こそぎ奪った。

最後の空襲は終戦前日の8月14日。京橋駅空襲とも呼ばれる



## 最後の空襲、8月14日の大阪は…

この空襲は陸軍砲兵工廠（現大阪城公園）を狙ったものだったが、近くのJR京橋駅のホーム

にも着弾、駅に避難していた800人以上の人が犠牲になった。

この悲劇の鎮魂のため京橋駅南口には碑が建てられ、毎年慰霊祭が行われている。

都心部は焦土と瓦礫に化した。千日前から北方面の道頓堀一帯を望む（写真で見る大阪市100年より）



江戸時代、大阪では治水や舟運のため川が開削され、多彩な用途の橋が次々と架設された。そんな中で特にユニークな橋（親柱の特異なデザイン、ビルと一体化した銘板、機能美に優れたもの、鉄道と併行する橋…）10選を紹介する。

## 阿倍野橋 あべのばし

●橋の欄干から下をのぞくとそこはJRの線路。大阪南部のターミナル、天王寺駅に発着する環状線と関西本線の電車が「流れている」のだ。



道路と鉄道が立体交差する橋に名前がつくのはまれなことだ。このあたりには大阪城の外堀がかつてあった。そこに架かっていた橋の名前が由来なのかもしれない。

## 赤川仮橋 あかがわかりばし

●橋の上からは淀川のゆったりした流れやわんどが眺められる。日に何度も貨物列車が脇を走り抜け、それを撮影しにくる撮り鉄も多い。



鉄道橋だが線路の未利用部を人道橋として活用。哀愁のある姿にファンも多い。だがこの秋には線路の複線化に伴い人道橋は閉鎖される予定だ。

## 今橋・葎屋橋 いまばし・よしやばし

●一つの親柱に二つの銘板があり、一瞬戸惑う。よく見れば東横堀川の東詰を起点としV字型に二つの橋が架かっていた。



江戸時代に架けられた。もとは別々の場所にあった橋だが、葎屋橋では船の往来が多く、また川の流れが複雑で

橋脚への衝突事故が多発。そのため架け替えとなり現在の形になった。

## 浮庭橋 うきにわばし

●「浮かぶはらっぱ」をコンセプトとし、2008年に架けられた吊り橋。橋上には芝生や季節の花があり、ベンチも用意されている。都心のプチオアシスだ。



道頓堀川水辺整備事業の一貫で誕生した。通行するだけでなく憩いの場として橋を活用している。

## 蜷橋 しじみばし

●幕末、新撰組と力士が乱闘した場所。今は橋はなく銘板だけがビルの定礎のような形で残っている。道の一本北側は高級クラブが軒を連ねる「北新地」だ。



明治の末頃まで流れていた蜷川（曾根崎川）に架かっていた橋。近松門左衛門の「心中天網島」にも登場する。

## 水晶橋 すいしょうばし

●水面に映る橋の照明灯が水晶の輝きのように見えたことからこの名がついた。大小のアーチの組み合わせが美しい橋の姿を作りだしている。



当初は堂島川の河川浄化と水位調節を目的に可動堰として建設されたが、現在はその役割を終え、歩行者専用の

橋となっている。

## 太左衛門橋 たざえもんばし

●道頓堀川遊歩道を歩くと木を基調としたこの橋が目に入る。整備の際、かつての繁華街をしのんで歴史的な意匠が取り入れられた。



江戸時代、道頓堀の南側にあった芝居小屋への通路として架設された。橋名は興行師・大坂太左衛門に由来。

## 難波橋 なにわばし

●橋の四隅に狛犬ならぬ阿吽のライオン像が置かれていることから「ライオン橋」の愛称がついている。大阪を代表する橋だ。



浪速三大橋の一つ。中之島公園に降りる石造りの階段や市章を組み込んだ高欄、華麗な照明灯がある美しい橋だ。

## 四つ橋 よつばし

●長堀川と西横堀川が交差しているところに井桁状に架かっていた四つの橋の総称。川は埋め立てられ現在は地名のみが残っている。



かつては観光名所として人々に愛された四つ橋。現在は昔の姿はすでになく交差点の真ん中に四つのミニ木橋と顕彰碑が残るのみだ。

「公儀橋」と「町橋」——江戸時代、幕府の経費で架橋や修復をしていた公儀橋に対し、町人が架設費用を出し管理していたものを町橋と呼んでいた。大阪には155の橋<1787(天明7)年調べ>があり、うち公儀橋はたった12で残りすべてが町橋だった。町人の心意気を感じられる。